

使ってみよう！ 「やさしい日本語」

職場や家庭など
いろいろな場面で

情報が
その場ですぐに
伝わる！

■「やさしい日本語」とは？

普段の日本語よりも簡単で、日本語に不慣れな外国人にわかりやすいように配慮された日本語のことです。

日本人にも外国人にも住みやすく、活動しやすいまちづくりのため、地域の共通言語として注目を集める「やさしい日本語」を紹介します。相手のことを考えて、いろいろな伝え方を試してみる、そんな「やさしい心」で、暮らしの中に「やさしい日本語」を…

「やさしい日本語」はどんな時に使うの？

■災害時・緊急時

翻訳する時間がなく、急いで情報を伝えないといけないとき

■平常時

お知らせチラシやポスター、掲示板、ニュース、生活情報など

どう便利なの？

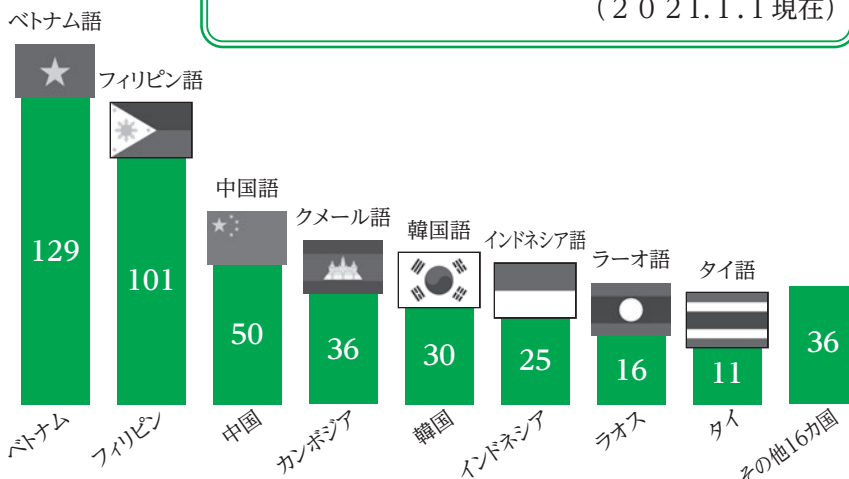
■外国人にわかりやすい

さぬき市に住んでいる外国人に対して、必要な情報を全ての母語に翻訳して伝えることは不可能です。簡単な日本語であれば理解できるという人は多いので、「やさしい日本語」が最も効果的です。

■日本人にもわかりやすい、使いやすい

ポイントを押さえれば、誰でも使うことができます。また、子ども、高齢者、障がいのある方など、誰にでもわかりやすいコミュニケーション手段の一つです。

さぬき市に暮らす外国人は、434人
(技能実習生、国際結婚、外国人の家族、学生など)
9割以上がアジア地域の人たちです
(2021.1.1現在)



「やさしい日本語」ができたきっかけ

阪神・淡路大震災では、多くの外国人が被害を受けました。災害情報は英語に翻訳されましたが、英語圏以外の国や地域から来た人は、言葉を理解できずに必要な情報を受け取ることができませんでした。しかし、生死を分ける「72時間」以内に必要な情報を多言語化しようとしても、とうてい間に合いません。

そこで、「迅速」「正確」「簡潔」な情報伝達のため考え出されたのが、「やさしい日本語」です。

「やさしい日本語」のルール

① 伝える情報を選択し、

必要に応じて説明を加える

- ・伝えるべきことは何かを考え、受け手にとって必要な情報だけに絞る。

② 一つの文を短くし、簡単な構造に

- ・主語と述語を明確にする。

▼「○○であり、△△なので」

↓「○○です。△△です。だから…」

③ 難しい言葉は、簡単な言葉に言い換えて

▼「今朝」→「今日の朝」

④ あいまいな表現は使わない

▼「おそらく」「たぶん」

⑤ 文末はなるべく統一して

▼「です」「ます」「してください」の形にする

⑥ 漢字にルビ（ふりがな）をつけて

▼「地震」→「地震(じしん)」

⑦ その他

- ・二重否定は使わない。

▼「行かないわけではない」

↓「行きます」

- ・外来語はあまり使わない。
 - ・擬音語・擬態語はあまり使わない。
 - ・絵や写真、図や実物を見せる。など
- ※他にもいくつかルールがあります。



■ 大切なのは「わかりやすさ」

いろいろ伝えたいことがあっても、まずは、必要なことだけに絞って伝えましょう。

■ 会話は、身振り手振りをつけて、ゆっくり、はっきり話しましょう。

おためしクイズ



「やさしい日本語」に言い換えてみよう！



- ① 「至急」
- ② 「返却する」
- ③ 「レンタサイクル」
- ④ 「弁当持参」
- ⑤ 「少々お待ちください」

① → 「急いで」

② → 「返す」

③ → 「自転車を 借りる」

④ → 「ごはん(食べる 物)を 持って 行くこと」

※『お弁当』を知らない場合もあるので、イラストをつけると、イメージしやすくなります。

⑤ → 「少し 待って ください」



昨年の活動

外国人と日本文化を楽しもう！

昨年12月13日に、書道体験を通して、さぬき市に住む外国人と日本人の交流がありました。

日本人参加者の声

「相手にどう伝えたらわかりやすいか、『やさしい日本語』をととても意識しました。」

外国人参加者の声

「簡単な言葉を使っているのので、日本語でもわかりやすかったです。」

★これからも色々企画する予定です。ぜひご参加くださいね。



【問】人権推進課 ☎(087)894-9088